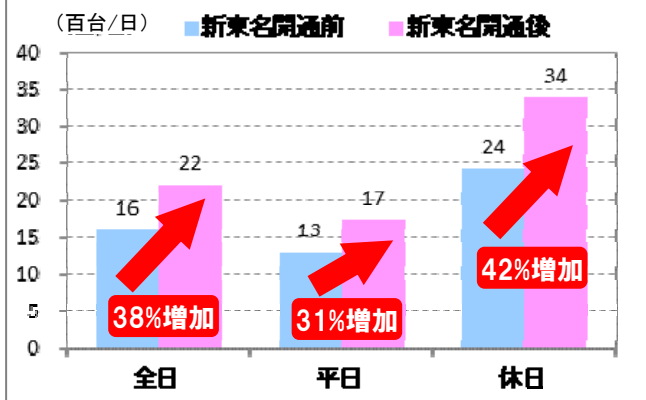


# 三遠南信自動車道(鳳来峡IC~浜松いなさJCT)開通後の状況について

## 三遠南信自動車道(鳳来峡IC~浜松いなさJCT)の交通量について

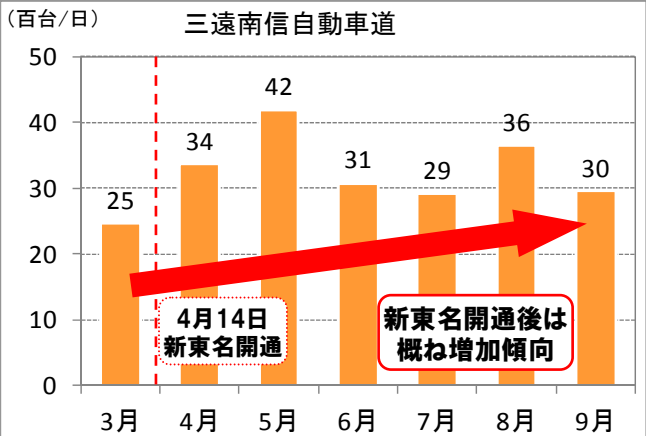
- 新東名開通後6ヶ月間の三遠南信自動車道の平均交通量は、全日22百台/日、平日17百台/日、休日34百台/日で開通前から、それぞれ約30~40%増加。
- 月別では、5月で42百台/日、8月で36百台/日と観光期の平均交通量が特に増加。
- 開通区間周辺では、鳳来峡IC以北の国道151号の休日交通量が約50%増加。

### ■新東名開通前後の交通量の変化



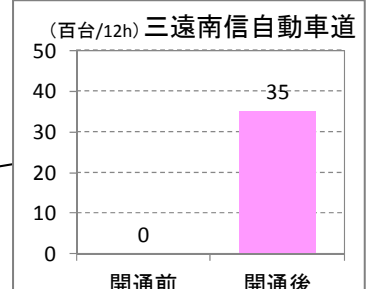
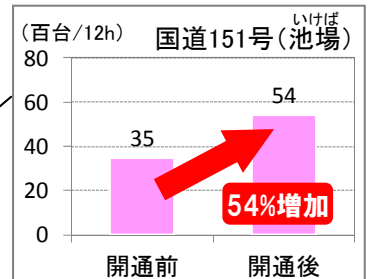
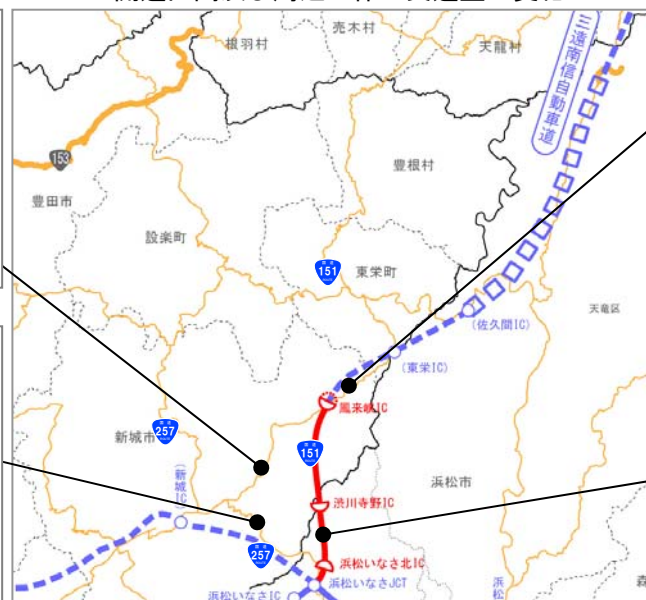
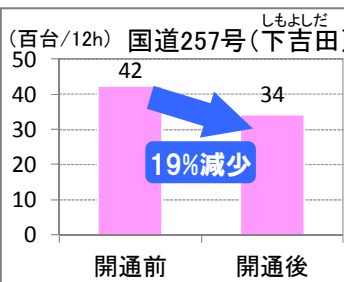
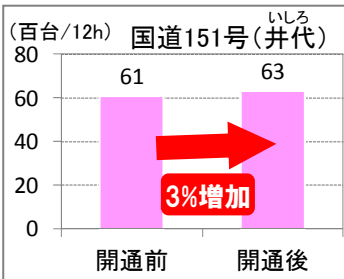
《出典》国土交通省交通量計測データ  
 新東名開通前:H24.3.5~H24.4.13 新東名開通後:H24.4.15~H24.10.14

### ■三遠南信自動車道の月別平均交通量(休日)



《出典》国土交通省交通量計測データ

### ■開通区間及び周辺の休日交通量の変化

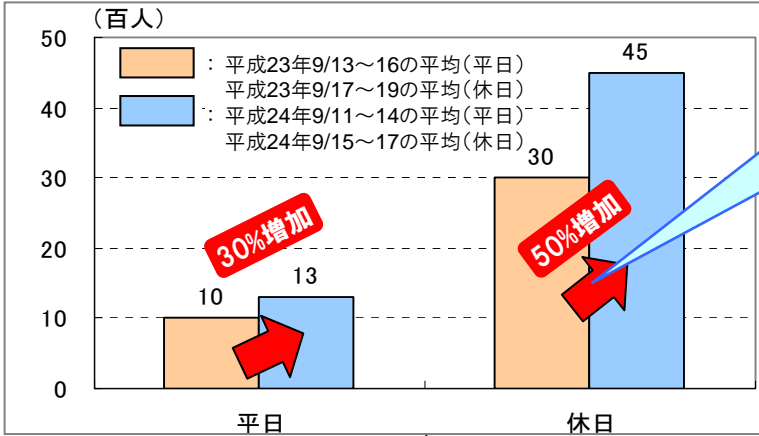


# 三遠南信自動車道(鳳来峡IC~浜松いなさJCT)の整備効果例

## (1) 新たな観光交流の誘発!

- 道の駅信州新野千石平<sup>にいのせんごくだいら</sup>では、休日の買い物客数が約50%増加。
- 三遠南信自動車道は休日午前に飯田方面に向かい、午後に浜松方面に戻るといった観光交通の特性が顕著。
- 三遠南信自動車道の約5割が東名・新東名を經由した交通、浜松市等周辺都市部だけでなく広域圏からの新たな観光交通も誘発。

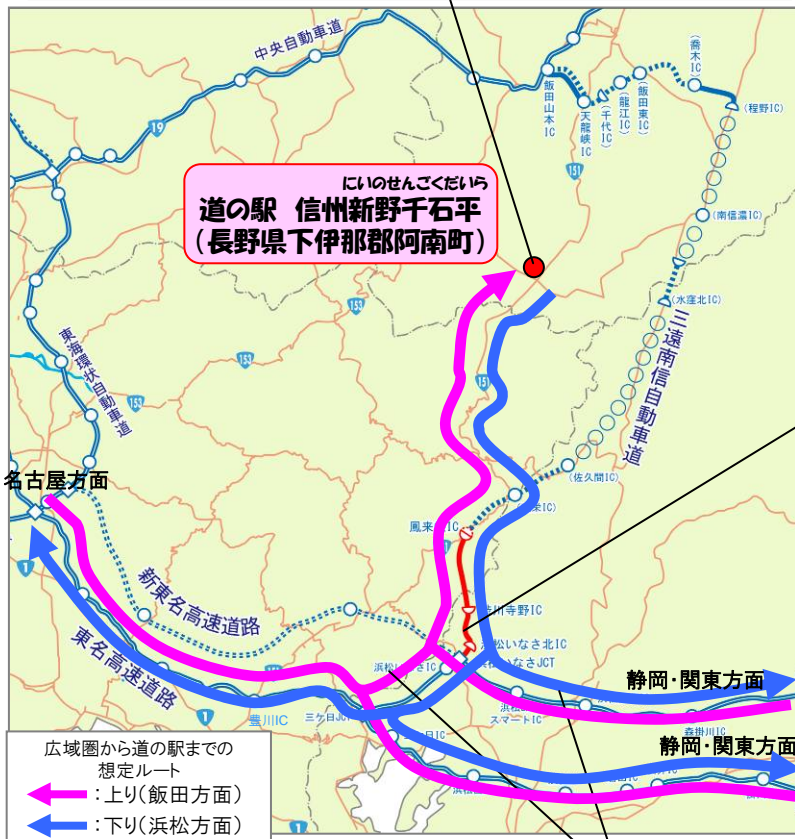
■道の駅 信州新野千石平 買い物客数の変化



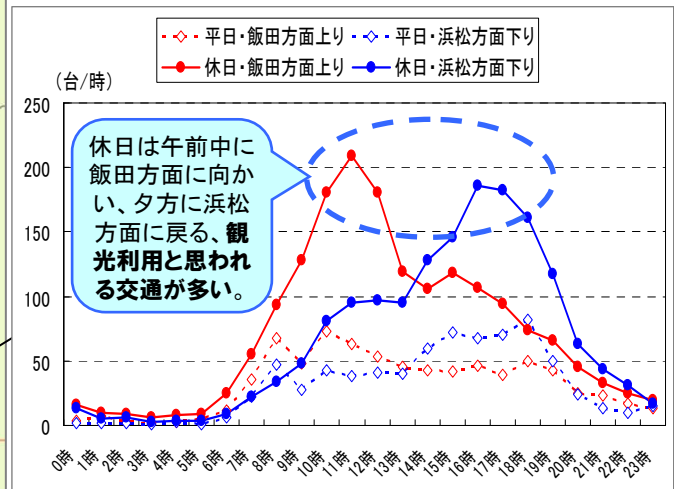
観光交通の増加に呼応して道の駅では、開通前に比べて休日利用者数が約1.5倍に増加

### 道の駅 運営者の声

新東名開通後、賑わいが増えています。また、時間短縮により静岡市内のスーパーでの出張販売の頻度も多くなり、売り上げも大幅に増加しました。

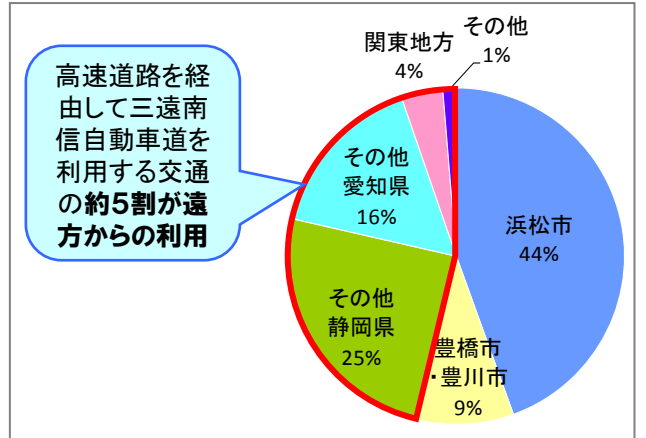


■三遠南信自動車道 平・休別、時間帯別交通量

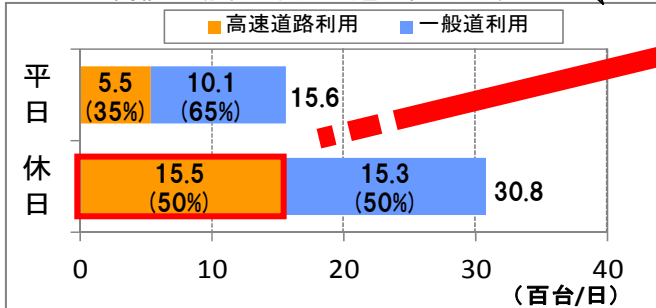


《出典》国土交通省交通量計測データ  
平日: H24.9.11(火)~H24.9.14(金)  
休日: H24.9.15(土)~H24.9.17(月・祝)

■高速道路利用交通(休日)の方面別内訳



■三遠南信自動車道利用交通の経由道路



《出典》三遠南信: 国土交通省交通量計測データ(H24.6) 高速道路: NEXCO提供データ(H24.6)

## (2) 看護師確保に向けた取り組みを支援！

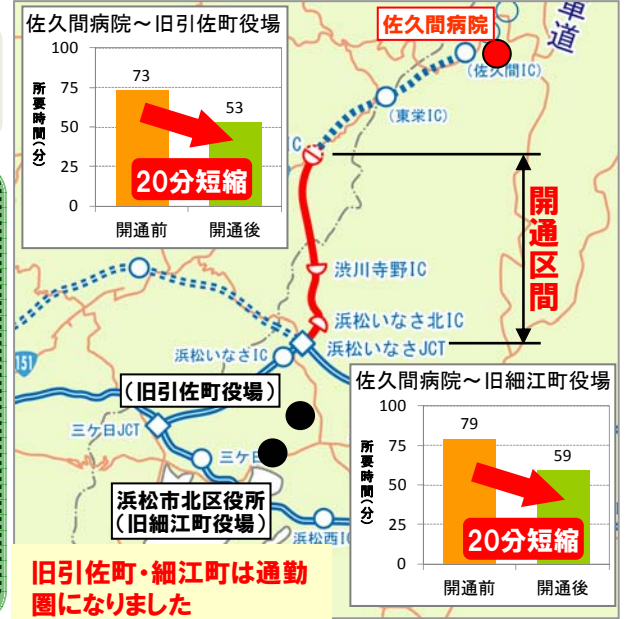
○今回の開通による移動時間の短縮で、**通勤圏が広がり**、佐久間病院の看護師確保を支援。

### 佐久間病院 事務長の声

看護師が不足しています。都市部から遠いので、人材確保に苦勞しています。**今回の開通で旧引佐町・細江町等も通勤圏**となり、それをアピールしながら、看護師の確保に取り組んでいます。



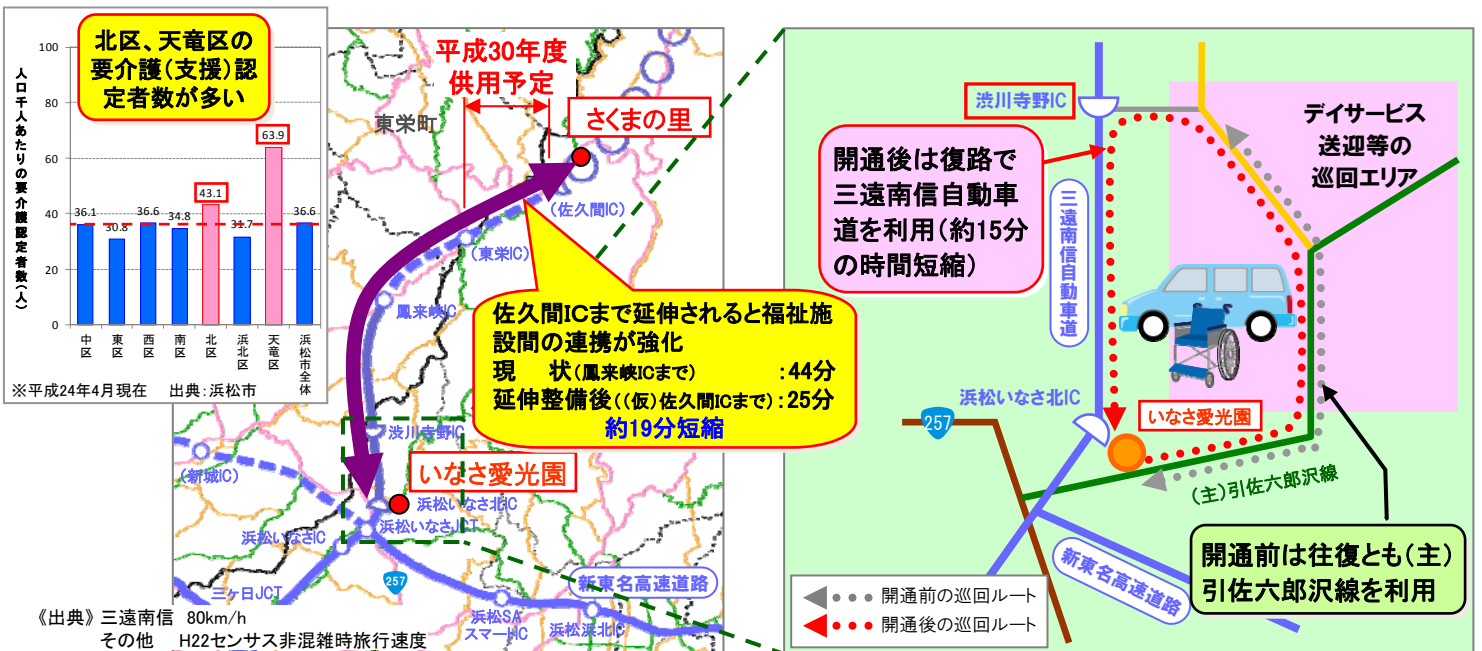
### ■佐久間病院からの所要時間の変化



旧引佐町・細江町は通勤圏になりました

## (3) 渋川寺野ICの開設で高齢者福祉事業の効率化・円滑化に貢献！

- 浜松市北区、天竜区は人口千人あたりの要介護認定者が多い地域。
- 渋川寺野ICは工事中道路の有効活用により設置されたICであり、その開設による移動時間の短縮は、特別養護老人ホーム(いなさ愛光園、北区)が運営するデイサービス、配食サービス等福祉事業の効率化・円滑化に貢献。
- また佐久間ICまで延伸されれば、佐久間町の福祉施設(さくまの里、天竜区)との連携強化が可能となり、更なる福祉事業の円滑化に寄与。



### いなさ愛光園 施設長の声

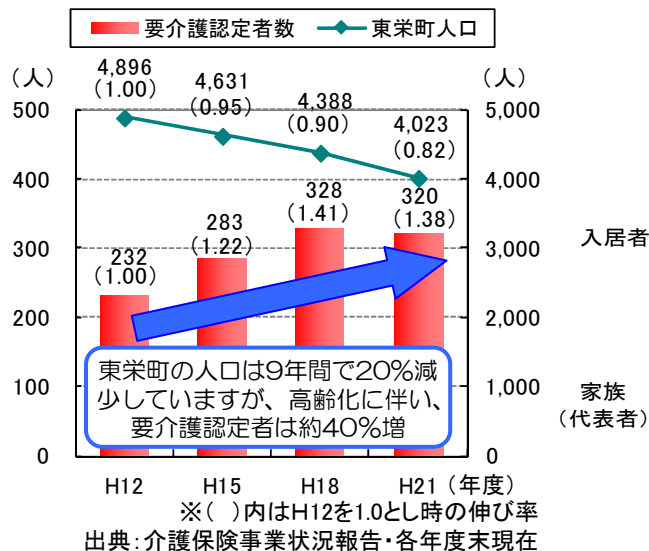
三遠南信自動車道(鳳来峡IC～浜松いなさ北IC)が開通する前は往復とも(主)引佐六郎沢線を利用して巡回移動をしていました。開通後は復路に渋川寺野～浜松いなさ北IC間を利用することで約15分移動時間が短縮し、事業の効率化を図ることができました。また、**先線が整備されれば佐久間町の福祉施設との連携強化**ができ佐久間ICまでの早期の開通を期待しています。



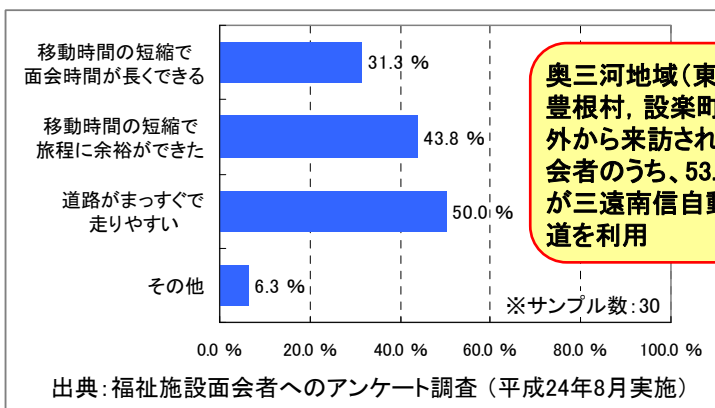
## (4) 老人ホーム入所者と家族の絆を深める環境づくりに貢献！

- 奥三河地域では高齢化の進展により、介護を必要とする方は増加。
- 老人ホーム入所者の家族の約7割は遠方の都市部に居住。
- 東栄町の老人ホームでは奥三河地域（東栄町、豊根村、設楽町）以外からの面会者のうち約5割は三遠南信自動車道を利用しており、所要時間の短縮や走りやすさを実感。
- 三遠南信自動車道利用者のうち約半数が来訪頻度が増加すると回答しており、入所者と家族との面会機会を増やすことで家族との絆を深めることに貢献。

### ■東栄町内の要介護(要支援)認定者数と人口の推移



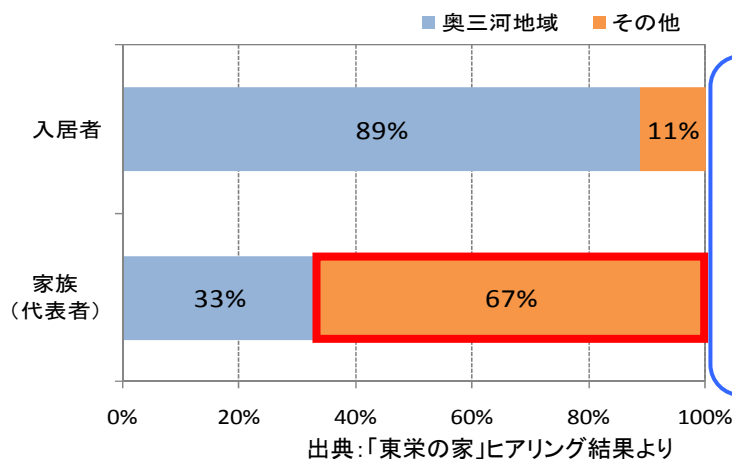
### ■三遠南信自動車道(鳳来峡IC~浜松いなさJCT)利用者が実感した整備効果



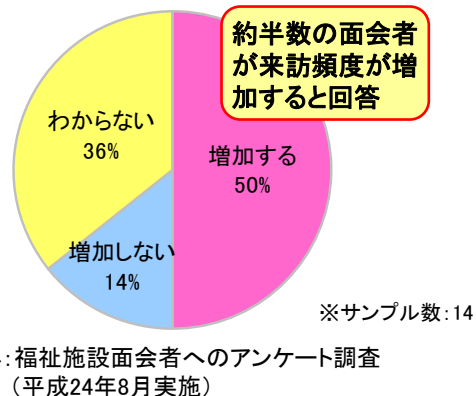
奥三河地域(東栄町、豊根村、設楽町)以外から来訪される面会者のうち、53.3%が三遠南信自動車道を利用



### ■グループホーム入所者とその家族の居住地



### ■三遠南信自動車道(鳳来峡IC~浜松いなさJCT)整備による来訪頻度への影響



## グループホーム運営者の声(東栄町)

グループホームの入所者の前居住地はほとんどが東栄町、豊根村です。しかしその家族(子供、孫等)は就職等で地域外に転出し、名古屋等の都市部に住んでいるケースがほとんどです。三遠南信自動車道が供用されると面会頻度が高くなるものと予想されます。経験から、面会頻度の増加は入所者に、好ましい影響をもたらすと思います。

